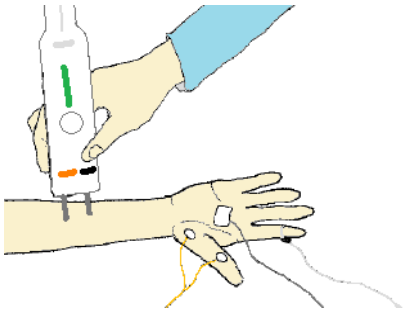
# 末梢神経伝導検査を受けられる方へ



末梢神経伝導検査は、手や足に電極をあてて電気を流し、手や足の神経が正常に働いているかを調べる検査です。

運動障害（脱力等）や知覚障害（しびれ、痛み等）が、末梢神経の障害によるものなのかを調べるための検査です。

## １．検査前・検査中のご注意

- 食事制限はありません。
- 手や足に電極をあてますので、腕や足を露出させやすい服装でお越しください。
  （半袖やたくし上げやすいゆとりのあるシャツ、ズボン、女性の方はスカート等）
- 電気で刺激するため、ピリピリした刺激で痛みがあり、低周波マッサージ器を強力にしたような刺激で筋肉がピクピク動き、不快な感じがするかもしれませんが、体に害がある検査ではありませんので、安心してください。
- 検査時間は９０分～１２０分程度です。
- 検査に時間がかかりますので、検査前にトイレは済ませておいてください。

# 筋電図検査を受けられる方へ

【筋電図検査とは】

神経伝導検査、針筋電図検査は、病気が疑われる患者様に対して、確定診断への一助とするために行う臨床検査法です。この検査によりさまざまな病気の検索が可能です。

【神経伝導検査　針筋電図検査の検査方法】

1）神経伝導検査：神経を電気にて刺激し、皮膚から反応を記録する検査です。手や足の神経を主に検査します。

2)針筋電図検査：細い針電極を筋肉に刺して、神経や筋肉の異常を検出するための検査です。

【神経伝導検査、針筋電図検査の偶発症】

1)神経伝導検査：電極で皮膚表面から神経を刺激します。必要に応じ刺激の強さが異なります。場合により痛みを感じることがありますが、後に残ることはありません。

2)針筋電図検査：針電極を刺すため痛みを生じます。ただし、細かい針ですので、ひどい痛みは生じません。稀に皮下出腫(皮膚の下に生じる内出血の塊のこと)による腫れや皮下出血の跡(紫色のあざ)が生じることがあります。(徐々に大きくなるような場合や、その他にも痛みがあり強まる傾向がある場合には、担当医にご一報下さい)